

香港科技大學滞在を終えて

物理工学専攻 博士課程 2 年 中河西 翔

ALPS の海外派遣制度を利用して平成 26 年 1 月 6 日から 20 日まで香港科技大學 (HKUST) に滞在した。ホストを務めてくださった Kam Tuen Law 助教は近年トポロジカル超伝導に関する研究を精力的に行っている若手の研究者であり、研究対象が非常に近い事からこれまでの学会・研究会等において議論を交わしてきた。今回の滞在でも、これまでの研究についての確認から始まり、どのように発展させていけるかの可能性を議論した。

また滞在期間中に HKUST 内の Jockey Club Institute for Advanced Study で開催されていた ” IAS Program on Topological Matter, Superconductivity and Majorana ” に参加した。このワークショップには世界各地から著名な研究者たちが参加していて、最新の研究成果に関して毎日 2, 3 のトークを聞く事が出来た。もちろんインターネットが発達した今日では arXiv などを通して研究成果の情報をすぐに得る事は出来る。しかし、セミナー中の質疑応答、コーヒープレークでのやり取りなどを通じて共有される知識は比較にならないほど理解を深めてくれる。そしてそれは次の研究への強い推進力となる。人が集まってこそ形成される雰囲気がいかに重要かということをも身を持って感じる事が出来た。コーヒを飲んでいたら論文が書けた、というのはまさにこのことを言うのであろう。現在はそれを体現すべく、ちょっとした議論から生まれたアイデアを形にすることに精力を注いでいる。



ワークショップが開催された IAS の建物